

## 第18回 一線美術愛知支部展を終えて

- 会 期…令和2年8月4日(火)～9日(日)
- 会 場…刈谷市美術館
- 来場者数…946人

天候不順で長引いた梅雨が明け、本格的な夏を迎えた8月4日から9日までの6日間、刈谷市美術館において美参会&一線美術愛知支部絵画展を開催しました。

コロナ禍にあって、感染者数が日々新聞等で報道される中、作品づくりにも影響がありました。創作に対するモチベーションが維持できない…直前で開催中止にならないか…そんな不安とともに作品鑑賞時は密集状態にはならないものの来場者があるだろうか…案内を出すべきか否か…等々開催に至るまで、これまでの日常が如何に自由であったか…と痛感させられる日々でした。

緊急事態宣言解除後、美術館は通常開館されたことから、私たちは、それぞれに感染予防策を講じながら開催に踏み切りました。初日、展示完了前にもかかわらず猛暑の中、来場される常連の方々もあり、大変ありがたいことと感謝です。

展示総数は、49点(出品者15人)です。ここ数年は、一線会企画写生会に参加した作品を会場の一角に展示してきましたが、本年は写生会が中止となり残念な思いもありましたが致し方ないことです。

会期中には、ケーブルテレビ局の取材もあり、例年と見劣りしない来場者を迎えることができました。その中には地元選出の衆議院議員、県会議員も訪れていただきました。会場を案内しながら交わす言葉の中で「コロナ禍で人と人との物理的な距離を保つことが求められているが、社会的に疎遠になることが求められているわけではない。芸術・文化活動をつうじて親密な社会を維持してください。」と励ましをいただきました。

会場では、物理的な距離を保つ「フィジカルディスタンス」に務めました。拙い作品群ではありますが、身近な作者の作品をつうじて鑑賞いただく皆さんとは、人と人を結ぶ「ソーシャル」は保てた支部展であったと思います。一日も早くコロナ感染症が収束し、終息することを願ってやみません。

結びに、支部展開催に際しては、本展中止に伴い多忙を極める状況にも関わらず、ご支援をいただきありがとうございました。



また、支部展関係者のご協力のもと、最終日まで多くの鑑賞者を迎えることができたことをお伝えし支部展の報告とさせていただきます。

一線美術愛知支部代表 鈴木康則



**第50回  
美参会&一線美術愛知支部 絵画展**

会 期：令和2年8月4日(火)～8月9日(日)  
開館時間：午前9:00～午後5:00  
○初 日…4日(火)正午より開場  
○最終日…9日(日)午後3:00より撤出

会 場：刈谷市美術館 2階 (第3展示室)  
刈谷市住吉町4丁目5番地 ☎(0566)23-1636  
[刈谷市公共施設連絡バス(無料)]がご利用できます  
刈谷駅(南口/北口)⇄美術館

主 催：美参会 一線美術愛知支部

《出品予定》

石川恵子・大藪 衛・岡 麻斗香・小川清子  
加藤幸代・神谷真由美・鈴木康則・西山靖子  
早川雅孝・原田照代・日比弥生・水越悦子  
森川正樹・藤田愛彩

ご高覧賜りますようご案内申し上げます

油絵教室(土・火曜日の午後) 美参会あとリエ  
刈谷市大正町1丁目203